



第9回入間市消防団消防操法大会のようす

 **いるま**  
**市議会**  
**だより**

No. 132

平成17年9月  
定例会号  
2005年11月1日発行

## 9月定例会

条例、請願など56議案を審議.....2P

常任委員会行政視察報告 .....4P

14名が一般質問.....7P

市民の声、ミニ情報 .....14P



## 入間市おおやけ公の施設の 指定管理者の指定 手続等に関する 条例などを審議

平成17年第3回定例会は、9月1日から9月22日までの22日間開催され、提出議案56件について審議されました。

内容としては、市長提出による専決処分1件、規約4件、条例15件、一般議案13件、平成17年度補正予算10件、平成16年度決算認定10件と、請願3件であり、決算認定を除くすべての議案が原案のとおり可決または採択されました。

なお、平成16年度決算認定については、9人の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、同委員会に付託のうえ、閉会中の継続審査とすることに決定しました。

## 条例

### 新規条例

議案第85号	入間市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例	全員一致で原案可決
--------	---------------------------	-----------

議案第85号

この条例は、市の公共施設の管理者を公募して、効率的・効果的に運営させることにより、サービスの向上と経費節減を図るものである。議員や市の三役・教育長が役員等の団体は指定管理者となれない欠格事由や、選考に当たっては指定管理者候補選定委員会をおくこと、指定管理者も個人情報保護条例の趣旨にのっとることなどが定められている。なお、来年度から一部施設（農村環境改善センター、勤労福祉センター、市民会館、産業文化センター、黒須保育所、扇台福祉作業所、市民体育館、武道館、運動公園、黒須市民運動場）が先行して適用の予定である。また、関連して各地区体育館は市の管理施設となる。

### 全部・一部改正条例

議案第86号	入間市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第87号	入間市手数料条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第88号	入間市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第89号	入間市火災予防条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第90号	入間市樹林等の保護及び緑化の推進に関する条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第91号	入間市農村環境改善センター設置及び管理条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第92号	入間市勤労福祉センター設置及び管理条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第93号	入間都市計画事業土地区画整理事業施行規程及び入間市市営住宅条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第94号	入間市市民会館の設置及び管理条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第95号	入間市産業文化センター設置及び管理条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第96号	入間市立保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第97号	入間市福祉作業所設置及び管理条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第98号	入間市スポーツ総合センター並びに体育施設設置及び管理条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第99号	入間市地区体育施設設置及び管理条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決

## 請願を提出される方へ

市政についての希望や意見を請願書として議会に提出することができます。

請願は、憲法で保障された住民の権利であり、住民の希望を直接市政に反映させることができます。

市議会へ請願をしようとする時は、次の要領で提出してください。

1. 邦文を用いて、件名、趣旨、提出年月日、住所、氏名（法人の場合には、その名称及び代表者氏名）を記載し、請願者が押印してください。
2. 請願書には、紹介議員 1 名以上の署名、または、記名押印が必要です。
3. 内容が 2 件以上にわたるときは、1 件ごとに提出してください。
4. 道路・下水道等具体的な場所に関するものについては、略図等を必ずつけてください。
5. その他不明な点については、議会事務局へお問い合わせください。

☎2964 1111  
(内線5112・5113)



101、福島慎吾氏より提出されたもの。要旨は、平成16年3月に「学校施設バリアフリー推進指針」が示されたことを受けて、肢体不自由児の自立を促進するためにも、第5次入間市総合振興計画及び学校耐震補強に対応する形でのエレベーター設置を含む学校施設のバリアフリー化指針及び計画の策定と、その円滑な実施を求めるもの。審議の結果、全員一致で採択と決定。

21、東金子地区第23区自治会会長、秋野謹也氏外28名より提出されたもの。要旨は、企業跡地に建設を予定されている娯楽施設付きボウリング場に関して、入間市の美しい自然環境を守り、市民が安心して暮らせる生活環境の保持のため、安眠確保、健康維持、景観確保、自然環境維持、日照確保等について、市があらゆる施策を講じるよう求める請願であり、審議の結果、全員一致で採択と決定。

21、東金子地区第23区自治会会長、秋野謹也氏他28名より提出されたもの。要旨は、三菱ウエルファーム跡地に建設予定の大型遊戯施設に対し、住民が安心して暮らせる生活環境保持のため、住宅地域への関係車両の進入禁止、通学路の安全確保、朝方までの営業による治安の悪化防止、青少年の健全な育成を守る事を強く訴えるもの。審議の結果、全員一致で、採択と決定。

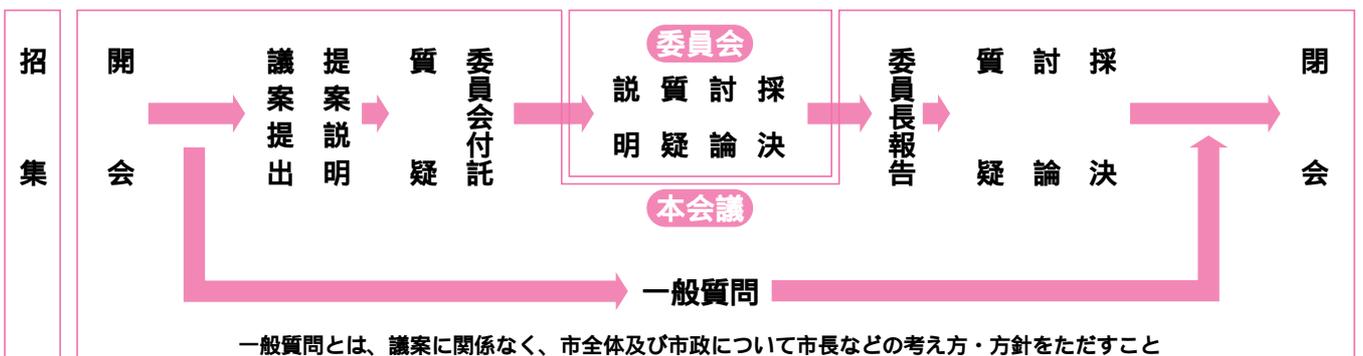


エレベーター設置を含む学校施設のバリアフリー化指針及び計画の策定に関する請願

入間市小谷田3丁目7番25号（三菱ウエルファーム跡地）への大型遊戯施設建設に関する住民の生活環境の保全を求める請願

入間市小谷田3丁目7番25号（三菱ウエルファーム跡地）への大型遊戯施設建設に関する市民生活、教育、治安の保全を求める請願

## 会議の順序



## 物品購入契約の締結について

救助工作車 型1台の購入契約の締結について

契約金額	7,838万2,500円
供給者	埼玉消防機械株式会社

## 請負契約の締結について

二本木公民館建設工事（建築工事）請負契約の締結について

契約金額	2億8,875万円
請負業者	吉沢建設株式会社

## 議会を傍聴しましょう

議会は住民の、住民による、住民のためのものです。次回の定例会は12月に開かれる予定です。

## 議会の運営と委員会

議会は、定例又は臨時に、一定期間開かれます。定例会は、毎年4回、3月・6月・9月・12月に開きますが、このほか必要があるときは臨時会が開かれます。会期中には、本会議や委員会が開かれます。本会議は、全議員が出席して、議会の最終意思を決定する会議です。委員会は、本会議で決定する前に、いくつかの部門にわかれて専門的に審査する会議です。現在、入間市議会には、趣旨・目的に応じて、総務・都市経済・福祉教育の3つの常任委員会、議会運営委員会、特別委員会（必要があるときに設ける）が置かれています。

**加古川市**  
行財政改革 加古川市の行革の特徴は、具体的な取組事項を掲げて期限の設定、数値の設定、取組状況の公表（市報・ホームページ）を基本とし、行革緊急行動計画で具体的な取組事項を追加していること。主な数値目標は、ア、職員数の削減（3年間で職員数の3%）、イ、経常経費の削減（見込み額は3年間で57億4千万）などで、主な取組項目は、

**総務常任委員会**

7月12日  
兵庫県加古川市  
7月13日  
兵庫県神戸市

**常任委員会**

# 行政視察報告

## 総務常任委員会

入間市議会に置かれている3つの常任委員会のひとつです。企画部、総務部、消防、会計課、検査課、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会に関する事項、他の常任委員会に属しない事項を所管しています。

ア、民間委託の推進、イ、定員管理及び給与の適正化など36項目である。指定管理者制度を導入し、陸上競技場と総合体育館の2施設を本年度から指定管理者により運営している。数値目標を明示し、後で検証できる点は参考になった。また、行政窓口サービスで、引越し事務や子育て支

## 議会のしごと(権限)

議会には、次のような権限

《やくわり・仕事をすることができる範囲》があります。

- 議決権 条例の制定や改廃、予算などを決めます。
- 同意権 主要人事(例:助役、教育委員等)の選任に対して同意するかどうか決めます。
- 調査権 議決により、市の事務に関する調査を行い、記録の提出を請求したりすることができます。
- 選挙権 議長、副議長、選挙管理委員等を選挙します。
- その他 決定権、検査及び監査請求権、説明請求及び意見陳述権、意見表明権、自律権、承認権、報告・書類受理権、請願受理権などがあります。

人間CATVで  
本会議を  
全面放映  
しています



放映チャンネル  
11チャンネル  
放映時間  
議会開催日の午後6時から



神戸市(防災情報センター)にて

援事務を一か所に対応するワンストップサービスも、今後人間市でも導入の必要性があると思われる。

### 神戸市

**消防・防災行政** 阪神淡路大震災の教訓として、火災発生時は消防に期待する面が強いが、大規模災害では消防力に限界があり対応できない。住民の手による初期消火が大規模延焼を防ぐ上で重要である。神戸市では防災福祉コミュニティの充実に努めている。自主防災活動に取組み、小学校区に185地区結成されている。あれほどの震災を受けた神戸市でも10年経過し防災の意識が希薄になっ

ているということ、日頃の訓練・啓発活動がいかに大事であるかが理解できた。

### 豊島区

**都市経済  
常任委員会**

8月1日  
東京都豊島区  
千葉県柏市  
8月2日  
福島県いわき市

**自転車利用環境整備基本計画** 自動車から自転車へと、環境負荷の少ない交通手段への転換を促すもので、自転車走行空間の整備、マナー啓発や放置自転車対策等を目指している。池袋駅西口側の都市計画道路では、幅員5.5mの歩道の低木の植栽を撤去して、「自転車歩行者道」に改修し、歩行者と自転車の通行帯を明示している。自転車走行のマナー表示看板や、短時間駐輪の場合の「斜め置き駐輪」のルール等も参考になった。

### 柏市

**柏駅周辺地区都市再開発** 柏駅周辺には大型商業施設が集中し、道路・駐車場等の整備の遅れで交通渋滞が深刻化している。一方、客の回遊性の不足で、元からの商店街で衰退する地域も出る等、「あらたな街づくり」が求められている。「中心市街



いわき市(中央台南中学校屋上)にて

地活性化基本計画」の策定や「都市再生緊急整備地区」の指定を受け、東口は地区計画を活用した、西口は広域アクセス道路の拡幅整備計画を軸とした、再開発が推進されている。

## 都市経済 常任委員会

人間市議会に置かれている3つの常任委員会のひとつです。

環境経済部、農業委員会、建設部、区画整理部、水道部に関する事項を所管しています。

いわき市

**太陽光発電集中連系システム** いわきニュータウンの次世代型の都市づくりの取組みとして、開発されたシステムである。中学校の校舎屋上や校庭の斜面、公園脇の緑地等に設置した太陽光パネルで発電された電気が、蓄電施設に送られ、その電気を商用電力線と1点で連系させ、電力会社に売ることにより、ニュータウン内にクリーンエネルギーを供給している。技術改良が待たれるが、先駆的な事業として参考になった。

## 議会運営委員会・特別委員会

議会運営委員会は、議会の運営に関する事項、議会の会議規則・委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項を所管しています。

特別委員会は、必要がある場合に設置される委員会です。条例の定める出来事が起きた場合、または議決が行われた場合に置かれます。現在、人間市議会では、行財政改革特別委員会、決算特別委員会（決算審査期間のみ）が置かれています。

### 福祉教育 常任委員会

7月6日  
福岡県宗像市  
7月7日  
福岡県北九州市  
7月8日  
佐賀県佐賀市

宗像市

**安全・安心なまちづくり連携会議**

平成16年5月に市と警察署、消防本部、地域安全連絡会の代表4者で「連携会議」を発足。また、市民全体の「推進協議会」を立ち上げ、防犯パトロール等を行っている。また、都市計画の面からも防犯に取り組み、設計段階から、防犯機能を取り入れた建築物に認定証を発行。さらに、国家公安委員会の認定を受けた「防犯設備士」5名がボランティアで既存の居住用建物等の防犯診断を行い、防犯意識向上に努力していた。あらゆる諸団体の連携により、市全体が防犯意識の向上に努力している。

北九州市

**図書館の指定管理者制度導入** 全国に先駆け、本年7月に図書館の指定管理者制度を導入し、開館時間の延長等、サービス向上に努めている。市民評価もよく、将来的には、中央図書館の管理機能だけを残り、順次移行していく計画をしている。

## 福祉教育 常任委員会

人間市議会に置かれている3つの常任委員会のひとつです。

市民部、福祉部、健康福祉センター、教育委員会に関する事項を所管しています。

子ども総合センター

「子ども総合センター」は、平成14年10月に保健福祉局児童相談所、教育委員会少年相談センターおよび教育センター教育相談室の3組織を統合し、保健・福祉・教育の総合的専門支援体制を目指し設置。不登校や非行、虐待などの子どもの人権に関する問題に、専門的な職員が積極的に取り組んでいる。この施設は駅から近く、不安を抱える市民がいつでも相談できる利便性が特徴である。弱者の立場に立った行政の積極的な取り組みがうかがわれた。

佐賀市

**子どもに関する窓口一本化（教育委員会子ども課）** 市民の目線を第一に、平成15年4月から機構改革に伴い、教育委員会に「子ども課」を設置。子どもに関する窓口を一本化し、市民の利便性を向上させた。乳幼児

から青少年期までの発達段階に応じた、一貫した保育・教育体制を構築している。統合により、非行や学級崩壊、児童虐待の早期発見・防止、また、幼児期の保健・栄養指導の面において、幼・保・小学校の連携が容易に図られ、継続して個々に応じた対応ができることで効果が現れている。さらに、学童保育室が教育委員会の所管事務となったため、放課後の児童健全育成事業の実施に際し、学校との連携が強化された。今後の課題は、福祉行政、児童虐待の早期発見等について、母子保健担当局との業務連携が強く求められる点である。



北九州市にて

# 一般質問

9月定例会の一般質問は、質問者14名により9月13・14・15日の3日間行われました。  
質問・答弁内容は、質問者本人が要約したものです。

Question 1

## 環境とアスベストについて

齋藤 國男議員

**質問** 市内の公共施設、小・中学校、民間住宅施設に対するアスベスト対策は、また、今後の方針は。

**市長** 過去にも調査対応をした事がある。現在、公共施設について再調査をしている段階で、今年10月末には調査結果をまとめ、その後基本的には撤去、封じ込めの作業をしていきたい。民間については調査状況を把握していない。

**質問** 住宅地の防災対策について、東藤沢地域のような密集住宅地の火災対策はどうなっているか。



東藤沢7丁目から6丁目方向を見た林川暗渠

**市長** この地域の雨水は全部不老川に流れ込む。理想なのは地域で雨水を利用、貯留して、オーバーした雨水だけを不老川に流せば水量も少なく下流に負担が少なくて済む。

**質問** 台風や大雨による東藤沢地域の水害対策はどうなっているか。

**市長** 入間市の地域防災計画によって、消防本部、消防団を非常召集させ総合的に対応していく。東藤沢地域の道幅の狭い住宅密集地での同時多発による大規模火災には、基本姿勢として日夜訓練を重ねた消防署員、消防団員など非常体制で臨む。

**質問** 各家庭、公共施設、事業所が雨水を利用し貯蓄をすれば大雨対策ができ、浸水も防げると思つが。

**市長** 入間市全体で雨水の利用を積極的にすすめている。貯留対策として平成18年度藤沢東小学校に貯留施設を作りた。入間市では市民の雨水貯留タンク設置の補助金制度もあり、17年度は8基の申請があった。

Question 2

## 加治丘陵公園整備の経費と見直し

野口 哲次議員

**質問** 平成17年度末に都市計画事業認可申請を行い、18年度から公園整備を進め4〜5年後には一部開設できるようにするとのことである。平成13年度に作成された基本計画では、経費はどのようになっていたのか。

**市長** 当時の積算では、総工費8億4千5百万円、そのうち用地取得費が53億8千5百万円、施設整備費が34億6千万円、大きなものとして地形復元トンネル1億5千万円、里山学習館14億3千万円、つり橋9千5百万円となっている。但し、用地取得は3分の1、施設整備は2分の1の国庫補助がある。

**質問** 一部開設はどの部分か。また、その費用は。

**市長** 一部開設の場所、費用とも、現在、検討中である。

**質問** 行財政改革等による財源確保の目処が立っていない状況で一部開設を進めるのはなぜか。

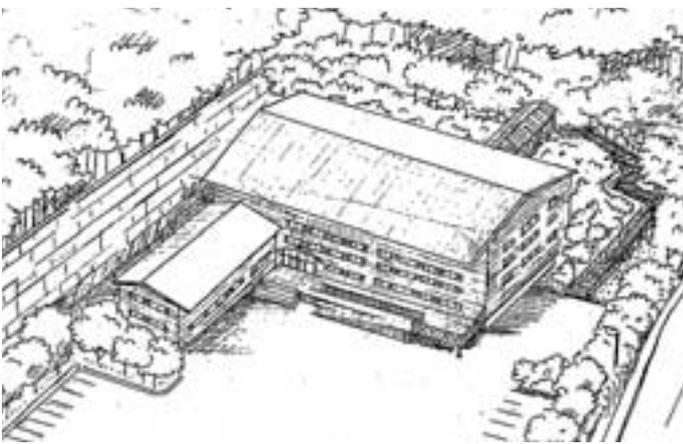
**市長** 少しでも早く市民の皆さんに、加治丘陵の自然と触れ合っていたきたいからである。

**質問** 多額の費用を要する公園整備事業は、今後の財政に大きな負担となるのでは。

**市長** 分野がちがう公共事業はそれぞれの視点から検討すべきである。

**質問** 基本計画策定の平成13年当時と財政状況が一変した以上、市民の意見をあらためて聞くべきでは。

**市長** 何十回も市民との会合を重ねており、市だけで進めていない。



約14億円の工事費用がかかる里山学習館（完成予想図）

Question 3

### アスベスト対策と相談窓口の設置

石田 芳夫議員

**質問** 静かな時限爆弾と呼ばれ、今後40年間で10万人の死者が出ると予想されるアスベスト（石綿）の被害を拡大した原因は、全面禁止をさせた歴代の政府の責任ではないか。

**市長** 政府は甘く見ていた。もっとしつかりした対策をすべきだった。

**質問** 17年前、小・中学校などのアスベスト対策工事の内容と撤去した廃石綿の行方は、工事に携わった人の氏名や労働時間の記録は保存されているのか。その人たちに健康診断を促すべきだ。

**市長** 当時20施設42力所の工事を完了している。封じ込めは庁舎と虹の郷であり、他の施設は撤去した。廃アスベストの所在は追跡調査する。

**質問** 公共施設と民間施設の調査と結果の公表をすべきだ。

**市長** 市内175棟の大規模建物を県と調査。10月末に公表し対策も発表。

**質問** アスベストのある解体工事は近隣に知ら



狭すぎて危険な藤沢公民館前の歩道

せる処置をすべきだ。

**市長** 周知看板の設置を検討する。

**質問** 県内にもアスベスト関連施設や廃止した事業者があった。そこで働いていた方、近隣に住んでいた経歴のある方の不安、こうした問題に対応する相談窓口の設置を。

**市長** 健康・環境・解体の問題があり、総合窓口を早急に設置する。

**質問** 広範な問題、対策チームを。総対策チームを設置する。

**質問** 藤沢公民館前の歩道が狭く危険だ。安全優先で対策工事を。

**区画整理部長** 県に働きかける。

Question 4

### 加治丘陵利用計画の見直しを

山本 秀和議員

**質問** このたび都市計画決定された加治丘陵さとやま公園計画のような、大型公共事業の採択にあたって、市民への情報公開と参画や、事前の外部評価を導入する考えはあるか。

**市長** 加治丘陵については、30年以上前から「開発か保全か」をめぐる、地権者等との協議を続け、計画立案の際には市民参加によるワークショップ等を実施してきた。従って市民の合意はすでに得ていると考えられる。しかし、加治丘陵以外の公共事業一般については、時代の要請でもあり、市民参画や公共事業事前評価の導入等について、さらに検討したい。

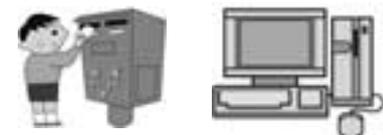
**質問** 三位一体改革の進展により、入間市の財政状況が大きく変化している。改めて民意を確かめ、開発規模などの見直しを行う考えは。

**市長** 地権者協議やワークショップ等を通じて、すでに計画骨子が固まっており、大幅な計画見直しは考えられない。しかし、財源については十分に考慮しなければならない。



**質問** 入札制度の更なる改善に向け、談合防止策として各地で導入が進む電子入札や郵便入札の可能性は。

**総務部長** 電子入札は平成18年度より県の共同システムへの加入を予定している。また、談合防止の取り組みとして、指名競争入札での指名業者名の公表を、現在の事前公表から事後公表へ改める検討を進めている。今後とも、公正かつ透明性の高い入札制度への改善を目指し、様々な観点からの具体的な検討を進めたい。



## AEDと感染予防マスクの普及を

永澤 美恵子議員

**質問** 自動体外式除細動器・通称AEDが、平成16年7月から一般市民の使用が許可された。この機械は、心臓発作時に電気ショックを与えることにより心拍を再開させるもの。呼吸停止、心臓発作等は、その場に居る人の応急処置が重要である。他市ではAEDを60施設に設置した所もあるが、人間市の現在の普及状況は。

**消防長** FM人間等のメディアを使って、広く設置を呼びかけている。1月に大企業に説明会を開催し、8月までに8事業所が設置した。また、藤沢分署、西武分署にも今年度中に設置予定になっている。

**質問** 公共施設の設置が、一箇所もないが、市民の安全を守る行政として、責任感が薄いのではないか。

**消防長** 積極的に訴えていきたい。



## 市内小学校の猛暑対策について

金澤 秀信議員

**質問** 市内小学校の猛暑対策の現状は。小学校低学年のクラス数は。低学年の全クラスにエアコンを設置した場合の概算金額は。

**教育総務部長** 市内小学校のうち4校が未実施である。1年から3年生まで全部で143クラス。そのうち対策未実施は34クラス。全体で約1億3千万円かかる。

**質問** せめて、体力的にも厳しい低学年の教室に扇風機でもつけられないか。子供は困っている。

**教育総務部長** 財政厳しき折ではあるが、来年度から2年間かけて市内全小・中学校に扇風機を設置する。

**質問** 武蔵藤沢駅前西口広場の一般送迎車両対策が不十分ではないか。

**区画整理部長** 開設時はシルバー人材センター等を活用して誘導員の配置により安全性を確保する。

**質問** 駅前広場開設時、バス停留所に横からの風雨避け対策を。

**区画整理部長** 現在は計画していない。追加整備する場合、1カ所あたり160万円ほどかかる。

**質問** 所沢航空公園にドッグランが本年2月より試行開始したが、大変好評である。分離・共存の考え方から、県に対し彩の森人間公園に設置要望の協力をお願いしたい。まずは、現場をよく見て頂きたい。

**市長** 所沢航空公園の現状をよく調査する。



**質問** 個人に配布することも大事であるが、公共施設に常備することはできないか。

**消防長** 受講者に購入してもらうことも含めて、平成18年度予算に組めるよう、働きかけていきたい。

**質問** 感染予防用マスクの普及をやめてしまったのはなぜか。

**消防長** 受講者の増大に伴い、財政的な問題で状況が厳しい。

**質問** 救命講習会をAED設置の事業所、学校関係、市の職員等は復して受講するべきと考えるがいかがなものか。

**消防長** 現在も積極的に受講している。今後、更に促進していきたい。



Question 7

## 大型ゲームセンター、学校給食

金子 健一 議員

**質問** 小谷田3丁目文化村に進出する大型ゲームセンターへの対応は。

**市長** 歓迎はできない。しかし法に基づくものは建設を阻止できない。

**質問** 住民説明会で事業者には誠意がない。交通問題や騒音、風紀の悪化など、住民は不安を持っているが。

**市長** 不安解消のため、事業者にしっかりと指導をしていきたい。

**質問** 住宅地に車を入れてはならない。住民の合意ができれば、一方通行などの対策はできるか。



入間市に進出する遊技施設と同じもの（瑞穂町）

**市長** 検討の価値はある。合意ができれば、警察とも話し合っていく。

**質問** 住民と事業者の協定を結ぶ際、市は仲介の労をとれるか。

**市長** 仲介はできる。事業者にも窓口をつくらせ、問題があれば、いつでも話ができるようにしたい。

**質問** 学校給食センターの業務委託を検討しているようだが。

**市長** 基本は直営。当面、運転手は調理に専念し配送のみ外部へ委託。

**質問** 入間市の給食はおいしいと評判だが、その背景はなにか。

**教育長** 校医や栄養士、調理員など、関係者が一体で努力してきた。

**質問** おいしい給食を守るために、調理の外部委託はすべきでない。

**教育長** 委託しても市の責任に変わりはない。献立は委託しない。

**質問** 栄養士と調理員のチームワークがおいしい給食をつくってきた。外部に委託して、それができるか。

**教育長** 人による。よい人材があれば、おいしい給食はつくれる。

Question 8

## 給食におけるアレルギー児対応

宮岡 幸江 議員

**質問** 食事は順調な発育発達に欠くことが出来ない重要なもの、一人一人の子どもの状態に応じて摂取法や摂取量等が考慮される必要がある。保育所給食、学校給食でのアレルギー児の実態と対応は。

**福祉部長** アレルギー児は年々増えている。保護者・所長・栄養士・担任の打ち合わせで献立を考え対応している。日々の給食を通じ工夫を凝らし食習慣の啓発に努める。

**教育長** 小学校児童の1・97%中、学校生徒の2・74%が何らかのアレルギー症状がある。保健調査書に基づき各学校で対応している。



順調な発育に欠くことができない食事（保育所の給食）



**質問** 市民会館の改修も終り、玄関を入ると左右にスロープが設置され、車椅子での利用もスムーズになった。障害がある人もない人も、心豊かな文化活動に参加できる取り組みが進んできた。しかし客席は全席で1千86席、車椅子席6席。この状況をどう考えるか。

**市長** 現状で最大12席可能ではあるが、非常時を考えると、もし可能な部分があるなら検討もしていく。

**質問** 避難訓練は、いざと言う時に備え、普段から避難所や災害対策について確認する意味合いがある。指定避難所となっている小・中学校に防災用具の保管場所の設置は。

**市長** 現在、市で管理しているのは地域バランスを考え4か所。学校等と十分協議する中でできるだけ広いエリアに設置することは大事。今後十分検討する。

Question 9

## 介護保険制度の充実に向けて

吉澤 かつら議員

**質問** 介護保険法が改正され、高齢者の負担が増すことに。高齢者の生活は厳しい状況にあると思うが、生活実態をどうとらえているのか。

**市長** これは難しい質問であり生活実態は把握していない。市で行ったアンケート結果では、一般の高齢者の場合、収入が10万円を超える方が65%、10万円未満が28%、施設入所者の場合は10万円を超える方が39%、10万円未満が47%となっている。

**質問** 家事援助サービスの取り上げが心配されているが大丈夫なのか。  
**市長** これまで通り必要とされるサービスは利用できる。



**質問** 施設入所者は食費・住居費が自己負担にされる。値上げによる負担に耐えられず、施設にいられなくなる人が出てくるのではないか。

**市長** 退所してしまうケースがあるが認識していないが、そのようなことがないよう検討していく。しかし一般的には、可能な限り負担して頂かなければならないと思う。

**質問** 介護保険料は、今でも高くて支払えないという人が沢山いる。滞納者は627人もいる。この現状をどうとらえているのか。  
**市長** 滞納の中身は色々。言及は避けさせて頂く。

**質問** 保険料の減免制度を市民に周知させていく必要があるのでは。  
**市長** PRしていく必要がある。  
**質問** 減免制度のさらなる充実を。  
**市長** 国の基準の範囲で取り組んでいく必要がある。

Question 10

## 障害者福祉の充実を

安道 佳子議員

**質問** 障害者自立支援法案が、次の国会に再提出される。福祉サービス利用料の割負担で、応益負担にされ、大幅な自己負担を強いられる障害者にとって、死活問題となるこの法案に対する市長の考えは。

**市長** 介護保険法の改正を受け、これまでの支援費制度から自立支援に大きくシフトしていく。給付と負担の関係から最低の受益負担、応益負担は必要になってくる。まだ議論が足りない。障害者の方々の不安を解消していく必要がある。

**質問** 障害者本人と家族の高齢化問題についての対策は。  
**市長** 障害者本人、親の高齢化問題については認識している。現在ある様々な制度を活用してもらう。不十分な場合は、生活保護も対応策とする。市として新しく制度をつくる考えはない。



**質問** 長引く不況で、雇用の確保が難しい。障害者の方々の雇用確保をどのように支援するのか。

**市長** 市内の施設での雇用は、一定程度確保されている。

**質問** 精神障害者施設の建物が老朽化し、雨漏り等、劣悪な環境なので、早急に改善すべきと考えるが。  
**市長** 施設の建物は、大変な状態だが、社会福祉法人なので市からの支援には、限界がある。

**質問** 障害者施設職員への待遇改善、市独自の支援策は。  
**市長** 特別な理由がない限りは、現状を拡大するつもりはない。

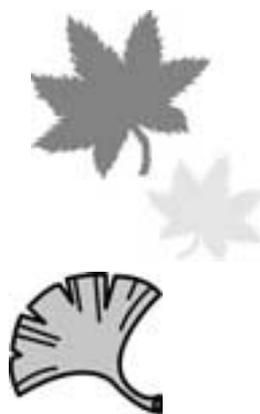
Question 11

## 安易な委託をやめ評価制度導入を

山下 修子議員

**質問** かつて自治体診断の必要性を指摘したことがあり、平成7年に市は行政診断報告書としてその結果をまとめている。事務事業運営の実態把握や執行状況、財政については決算統計をもとにした全国平均値との比較などを内容としたものであった。あれから10年を経過したが行政に内在する基本的な問題の解決など総括的にどう取組んできたのか。

**企画部長** 効果的な分析は組織編成や職員の削減等にかし、業務委託の削減分は投資的経費にまわしてきた。経常経費の見直しなど今後も継続して行革プランとの連動のなかで進めて行きたいと考えている。



**質問** 本年2月の予算審議の際、財政自主計画の策定と推進、経費の削減目標の必要性及び事業選択型予算編成への転換、補助金適正化方針の早急な打ち出し、地域自立計画についてなどを指摘しておいたが、半年が経ち庁内での取組み状況はどうか。歳出削減には評価制度の導入もさけられない。感情に左右されず事業や政策を評価し行財政改革に反映すべきと思うがどうか。

**市長** 130の事業について内部検討を加えており評価の結果は次なる事業にいかし慎重に対処して行く。

**質問** 改革が目指す将来都市像は教育・福祉・環境を基本とする都市として豊かな地域社会の形成に向けてはどうか？

**市長** 市に即した人・まち・自然。1つ欠けても将来に支障をきたす。

Question 12

## 人口減少時代・平地林・踏切安全

宮岡 治郎議員

**質問** 国の統計調査では、日本の総人口は減少の傾向にある。行政全般として、人口減少時代の市政について、(1)今までに無い初めての事態を、どう捉えているか。(2)市としてどのような施策が考えられるか。

**市長** (1)日本全体の問題に人間市が入り、地方分権の流れでも変わってくる。少子高齢化や財政の問題もある。(2)地域間競争は無意味な面もある。市民の自律意識も重要である。都市基盤整備は行うが、区画整理地域は除いて、人口増加策は取らない。



平地林を含む樹林を好む身近な鳥の減少が、分布調査で目立っている。

**質問** 平地林の存在意義について(1)緑の効用は、具体的にどのようなものがあるのか。(2)丘陵との関連で鳥類の分布はどうなっているか。

**環境経済部長** (1)ヒートアイランド現象の緩和や保水機能、また、安らぎ等精神面でも幅広い効用がある。(2)鳥類は環境の指標動物といわれているが、平地林等緑地の減少とともに、数は総じて減少の傾向にある。

**質問** 西武線仏子2号踏切(太陽繊維前)及び周辺道路の改良について、(1)入間市内で最も危険な踏切として安全対策は。(2)市全体の中央部を南北に縦貫する幹線道路の一区間として、都市計画道路への検討は。

**建設部長** (1)踏切に接する道路は幅員約4mだが、丁字型で変則的、地形的にも高低差があり水路が接近している。道路改良を含めて難しい。  
**市長** (2)都市計画画上、部分では計画は認められない。総合的に考えないと、交通事情の改善は図れない。



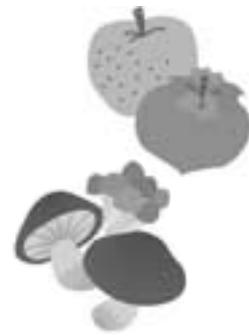
## 人間市と食育について

忍滑谷 陽子議員

**質問** 食育基本法が平成17年7月に施行されたことについて、食育に対する関心が高まっている。人間市でも食と教育に関する取り組みの中で、過去3年間の人間市の食と教育に関する取り組みについては。

**市長** 食育はあらゆる世代にかかわること。法の施行は日も浅く、所管の部署を一括しての事業推進は難しいと思うが、国または県の計画確定を待ち、しかるべき処置をとるのが望ましいと思う。

**質問** 教育委員会としての食育に対する基本的な考え方、小・中学校でのこれまでの取り組みと効果、そして今後のカリキュラムへの取り入れ方は。



**教育長** 小・中学校では、一例としては市の特産物であるお茶の生産から消費に至るまでの教育などを通じて、また総合的な活動の中でも、食を通じての教育を行ってきた。食育としては、国、県の動向を踏まえ、カリキュラムの中にしつかりと位置づけていきたい。

**質問** 食生活改善推進員の活動について、今後いかに市民の食生活改善を推進し発展させるのか。

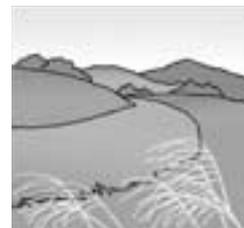
**健康福祉センター所長** 食生活改善推進員は、厚生労働省所管の全国組織(財)日本食生活協会の協議会会員である。市としては、健康福祉センターの事業や公民館の活動を通じて、これまで通り、側面的に支援し、協力しながら食を通じて市民のために取り組んでいきたい。

## 環境基本計画について

駒井 勲議員

**質問** 平成12年度から平成21年度まで10年間の計画である環境基本計画には、加治丘陵や狭山丘陵などの里山、県下の生産量を誇る茶畑などの農地、市内を流れる人間川、霞川、不老川などの豊かな自然を将来の世代に引き継いでいくことと、現在直面しているごみ問題、ダイオキシン類などの環境汚染、地球温暖化などの地球環境の様々な問題を解決するため、市、市民、事業者が積極的に連携して進めていくということになっているが、進捗状況はどうか。

**市長** 環境まちづくり会議をつくり啓発活動に積極的に取り組んでいる。平成15・16年度、当市の環境の現状等について、進行管理指標により判断をすると順調に進んでいる。18年度は地球温暖化対策実行計画、19年度には地域推進計画をこの計画とは別に策定する予定である。



**質問** 犯罪について、これまでの枠組みを越えて警察、自治体、住民が連携する安全な地域づくりということが始まっている。そして犯罪についてその機会の減少ということが大切だが、その機会の減少のため、予防重視の「地域安全マップ」の作成を学校で行ったらどうか。

**教育長** 社会全体で安全、安心なまちづくりと位置づけて取り組まなければならぬ問題であり、危険箇所の把握が重要である。小学校12校、中学5校でマップを作っているが全校に進めていきたい。





小谷田 田中伸一（塾講師）

### 生涯学習活動に 取り組んで

「生涯学習をすすめる市民の会」の委員となり、活動を始めて2年目になります。昨年は不慣れな事も多く、先輩委員の方々に助けていただく場面もありました。

「市民の会」の活動を通じて少なからず驚かされたのは、大勢の元気な方が様々な分野で活躍されていることでした。環境問題を考え加治丘陵の森の中で汗を流す方々、ゴミ問題を継続的に審議しておられるグループ。子育て問題に関して入間市の現状を考える集まりがあり、外国籍の人に日本語を熱心に教えているボランティアの方もおられます。実に多くの市民の方がそれらの活動をご自身の生涯学習と考え取り組んでおられます。

第11回生涯学習フェスティバルも間近になり、今年はどうな方に出会えるか、今から楽しみにしている次第です。

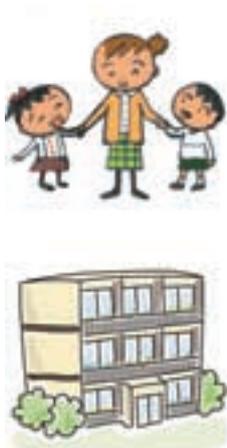


松子 時田紀久雄（会社囃託）

### マンション 相談窓口を

松子団地に住んで32年になる。今年、輪番により管理組合役員を仰せつかっており、ご近所、他のマンションの方々と話し合う機会も多くなった。出身経歴は様々だが豊かな自然と人情、入居当初に比べ格段に整備拡充された文化施設など生活環境が気に入入り、入間市を終の住処と定めた人が多いのは心強い。

現在、市内のマンションはかなりの戸数、棟数に上ると思われる。各マンションの仕様、建築年数は多様であるが大規模修繕、日常の維持管理、高齢化、騒音、ペットなどを抱えている問題は同じようだ。これらの解決は今まで管理組合や居住者の個々の努力に任されてきたのが実情である。行政でマンション問題に専門的に対応する窓口を設けていただけたら管理組合を始め居住している皆さんの心労もかなり減少緩和されるものと考ええる。



## 12月定例会日程案

12月 1日(木)	開会
12月 6日(火)	総括質疑
12月 7日(水)	委員会
12月12日(月)	一般質問
12月13日(火)	一般質問
12月14日(水)	一般質問
12月20日(火)	閉会

日程については、変更する場合がありますので、議会議務局へお問い合わせ下さい。  
2964-1111 内線5112・5113

## 三二情報

情報の宝庫・市政  
情報コーナー

行政の透明化や積極的な情報公開が求められて久しくなりますが、これまで入間市でも情報公開・情報提供を拡大する取り組みや個人情報保護の取り組みが進められてきました。その拠点となる相談・案内窓口が、今回ご紹介する市政情報コーナーです。

市政情報コーナーは、市役所C棟1階フロアの西寄りの場所に設置されています。ここには、市が発行する書籍や行政計画、統計書、各種調査・事業報告書等の資料やパンフレットなど、市政に関する図書・資料が数多く揃えられています。また、市のホームページや市議会会議録検索システムが利用できるパソコンも設置されています。さらに公文書の公開請求の受け付けなども行っています。

これらを上手に活用すれば、私たちのまち入間市と市政の過去・現在・未来について幅広い情報が得られ、理解が深まります。住みよい入間市を考える上で必要となる材料が詰まった宝庫をご利用ください。

## 議会だより編集委員会

宮岡 治郎	山本 秀和	山下 修子
金子 健一	金澤 秀信	永澤美恵子
齋藤 國男	忽滑谷陽子	宮岡 幸江

は委員長      は副委員長